

日作協発 第 393 号
平成 29 年 10 月 4 日

厚生労働省 保険局
局長 鈴木 俊彦 様

一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 中村 春基



平成 30 年度診療報酬改定に関する要望

日頃より日本作業療法士協会の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
平成 30 年度の診療報酬改定に向けて、日本作業療法士協会では、地域包括ケアシステム構築のため、どのような疾患や状態であっても、活動と参加に資する質の高い作業療法を提供するための方策を検討して参りました。

つきましては、診療報酬改定に関して以下の通り要望をいたします。
何卒ご高配賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

記

- 質の高いリハビリテーション医療を実現する視点
 - (1) 生活行為申し送り表を退院時リハビリテーション指導における参考様式へ
 - (2) 生活行為向上マネジメントの活用
- 認知症の者に対する適切なリハビリテーション料の視点
 - (3) 認知症患者リハビリテーション料の適応拡大
- 精神科作業療法における地域移行・地域生活支援の充実
 - (4) 地域生活移行を推進する精神科作業療法計画書を参考様式へ
- 療養病棟等における、重度化防止を促進する提案
 - (5) 寝たきり患者への重度化防止と活動と参加につなげる体制加算の新設

以上